

いちはら福祉ネットの は 一 と 通 信

2020. 7. 25発行

VOL.55

発行者 中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット(千葉県委託事業)

〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-15

TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225

ホームページ http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/

メールアドレス ichihara_f.net@bh.wakwak.com

年4回発行(4,000部)



新型コロナウイルス感染症は私たちの生活にどのような影響を及ぼしたのか？



～いちはら生活相談サポートセンターの相談状況からみる
新型コロナウイルス感染症



現在、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっています。日本では令和2年1月16日に最初の感染者が確認され、緊急事態宣言が解除された後も各地で新たな感染者が確認されています。新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)は私たちの生活にどのような影響を及ぼしたのか、今回の一と通信で振り返っていききたいと思います。

今回、新型コロナによる影響は様々な分野に波及しました。

医療分野では、感染が疑われるが診断がついていない患者の対応をするための個室の確保が難しく、救急車で搬送されても受け入れ先がなかなか見つからない状況が発生しました。また、感染拡大を防ぐため、一般救急の受入れや緊急性のない手術は中止せざるを得ないといった状況も報道されています。

介護・福祉分野では、面会制限をする施設が増え、ターミナルケア(終末期ケア)を受けている入所者でさえ、家族と会えない状況が続く、一方ではデイサービス(通所介護)やヘルパー(訪問介護)の利用休止・時間短縮などにより、家族への介護負担が増えていきました。

学校・教育分野では、全国全ての学校が臨時休校となったことで、学校行事が延期や中止となりました。また、外出自粛による運動不足や友人と会えないことでストレスを抱える子どもたちも出てきました。

経済・雇用分野では、インターネットを利用したりリモートワークや時差出勤など新たな働き方が見出された半面、観光業・飲食店経営者などは予約客のキャンセルや営業自粛により収入が途絶え、場合によっては廃業を余儀なくされる事態となりました。

上記以外にも新型コロナは、社会全体に様々な影響を与えていますが、特に外出自粛や休業要請に伴う経済活動の低下により会社や個人の収入が減少し、新型コロナ感染拡大前の生活を維持することが難しくなってしまった方々の急激な増加が大きな社会問題になっています。

生活困窮者自立支援制度における「自立相談支援機関」は、生活困窮状態に陥った方々を中心に支援活動を展開しています。今回、市原市から委託を受けて相談業務を行っている「いちはら生活相談サポートセンター」にお話を伺ってきました。

Q 新型コロナウイルス感染症拡大後のセンターの状況はどうだったのでしょうか？

A 新型コロナによる市民への影響は多大で、「収入が減った」「生活費の支払いに困っている」という相談が急増しました。4月から6月の3か月間で昨年度の年間新規相談件数をはるかに超えました。中でも多かったのは、家賃に関する相談です。

いちほら生活相談サポートセンターでは、住居確保給付金の申請事務を行っています。これは、離職により住居を失った又はそのおそれがある方に対して家賃の給付をするものですが、新型コロナ特例により、休業や減収者にも対象が拡大されたこともあり、利用を希望される方が大幅に増えたのです。特に、アルバイトやパート、派遣社員などいわゆる非正規雇用の方々や、飲食業・建築関係の個人事業主の方からの相談が増加しました。

このような中、来所者への検温の実施、相談ブースの亚克力板の設置、アルコール消毒など感染防止策を講じながら相談対応を行いました。

Q どのような相談が寄せられましたか？

A 「就職先が決まったばかりなのに、解雇になってしまった」
 「会社が休業したが、休業補償がもらえない」「店の客足が減りシフトに入れなくなった」
 「取引先から仕事が回ってこなくなった」
 「学校や保育園が休みになり、仕事に行けない。食費が予想以上にかかっている…」
 「日本語が分からないから新型コロナの情報が入らない（外国籍）」
 など、ひっ迫した生活状況についての切実な相談が寄せられました。

Q いちほら生活相談サポートセンターにとっての新型コロナとは…？

A ひとことで「新型コロナウイルスによる生活上の困りごと」といっても、状況や背景はひとりひとり違います。

今回の新型コロナ感染拡大に対し、国や自治体は様々な支援策を逐次打ち出しました。緊急事態宣言が出された後は、さらに短期間で制度の運用方法や対象者の範囲などが目まぐるしく変わったため、スタッフは、新たな情報を常にセンター内で共有し、様々な制度を活用してこの状況に対処しました。

また、相談者の困りごとにより他機関につなぐ必要がある場合には、単に紹介するだけでなく、相談者の同意のもとに確実に相談先につながるよう調整を行いました。

中には、収入減少だけでなく医療の問題や家族間の問題など、複合的に問題を抱えた方もおられ、当初新型コロナの陰に隠れていた問題の核心が見え始めている気もしています。これからが新型コロナに関する支援の正念場なのかもしれません。

【最後に】

現在経済活動が再開し始めている状況ですが、感染者が徐々に増加しており予断を許さない状況です。『新しい生活様式』が発表され、新型コロナ感染拡大前とは私たちの生活は大きく変わっています。新たな仕組みや制度ができた際、必要な方々に情報や支援が行き届くにはどうしたらいいか、緊急事態であってもこぼれ落ちる人たちが出ないように何ができるのか、私たちは考えていかなければならないと感じています。



新型コロナ禍による運動不足解消に！

市原いいあんばい体操～イス編～(イイッスね～)

いつでも

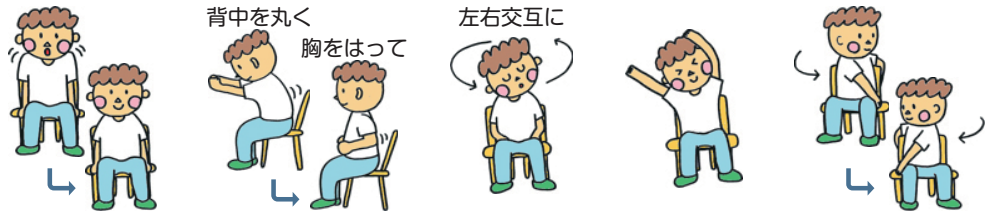
どこでも

誰とでも

好きな歌や
カウントで
自分のペースで
OK!

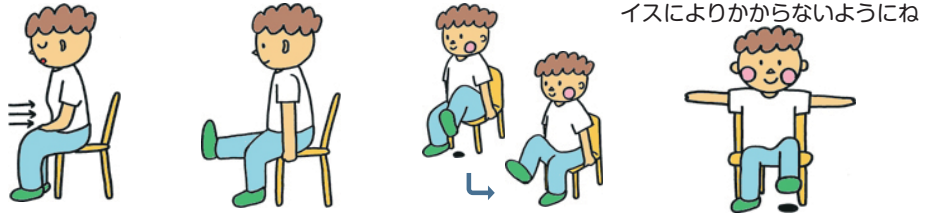
このパンフレット
は市原市ホームペ
ージよりダウンロ
ードできます。
体操の解説もあり
ますよ！

1番 上半身ストレッチ



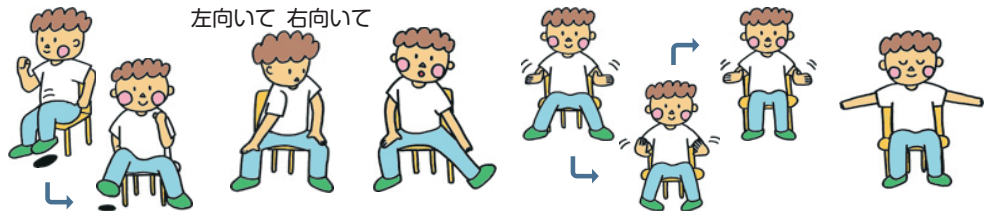
- ①肩の上下 ②背中・胸伸ばし ③首回し ④わき腹伸ばし ⑤体ひねり
③ゆっくり ④左→右 右→左 ⑤左→右 右→左

2番 体幹筋トレ・バランス



- ①お腹をへこませる ②ひざを伸ばす ③もも上げ ④片足バランス
①お腹を引っ込めながら息を吐く

3番 下半身のストレッチ



- ①その場歩き ②内もも伸ばし ③ひざ伸ばし ④手足ふりふり ⑤深呼吸
①徐々に足幅を開く ④手と足を内側外側にひねりながらだんだん閉じる

《問い合わせ先》市原市 高齢者支援課 高齢者福祉係 TEL 0436-23-9814(直通) FAX 0436-24-7135



「グループホーム入居者の声を聞いてみよう!!」②

第2回目は、精神障害を持つ30代女性の入居者からお話を伺ってきました。

Q、なぜ、グループホームへの入居を決めたのですか？

A、グループホームへ入居する前は、実家で家族と一緒に生活していました。家族と離れて自分一人で生活できるようになりたい、自立したいと思うようになり入居することにしました。

Q、現在、グループホームではどのような生活を送っているのですか？

A、週5日朝から夕方までは、市内の就労継続支援B型事業所に通い、ビル清掃やおしぼりの納品などの作業に参加しています。休日は、近くのスーパーなどで買い物をしたり、趣味のコンサートに出掛けたりして過ごしています。一人で過ごすことが多いですが、グループホームの生活に不安を抱えた時には、世話人にゆっくり話を聞いてもらっています。

Q、将来の夢、今後の生活の希望などはありますか？

A、まずは、就労継続支援B型事業所を卒業して一般就労できるようになりたいと思っています。先の話になりますが、グループホームも卒業して一人暮らしをしてみたいと思っています。

グループホームでの生活を通じて、少しずつ自分の力ができることが増え、目標を持てるようになったことが良かったと話してくださった姿がとても印象的でした。



旬の食材を使ったヘルシーメニュー

夏の冷たい簡単スイーツ

キウイフルーツシャーベット

(1人分：91.5cal)

材料(4人分)

キウイフルーツ(4個)、グラニュー糖(大さじ4)、水60ml

- 作り方…① キウイフルーツは皮をむき、すりおろす。
 ② ①にグラニュー糖、水を入れて混ぜ合わせる。
 ③ 保存容器に入れ冷凍庫で3時間、冷やし固めます。途中何度かスプーンで全体をかき混ぜる。
 ④ 器に盛りつける。
 * グラニュー糖の量はお好みによって調整して下さい。

おすすめの一言・・・

「キウイフルーツはビタミンCが豊富で、1個で1日に必要とされるビタミンCの7割が摂取できると言われています。他にも消化促進、便秘の改善、血糖値上昇の抑制等様々な効果があり、夏におすすめのフルーツです。家で過ごす時間が増えた今、手作りデザートはいかがでしょうか。」

今回は新型コロナウイルスの影響により、毎号掲載にご協力いただいていた市内各施設の栄養士の方々ではなく、いちほら福祉ネット職員が作成したおすすめのヘルシーメニューとなっております。ぜひ、おためし下さい。

【会議等出席・開催状況 R2/4/1～6/30】

4/6・6/30 市原市認知症対策連絡協議会 役員会
(WEB会議)

4/20・6/15 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域実務者会議
(書面会議・通常開催)

4/28・5/26・6/23 中核地域生活支援センター連絡協議会
総会(書面開催) 例会(WEB会議・通常開催)

5/12・6/16 市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議

5/21 司法と福祉の勉強会(WEB研修)

5/21 市原市社会福祉協議会 理事会(書面会議)

5/29・6/23 中核地域生活支援センター連絡協議会
制度政策委員会(WEB会議・通常開催)

5/29 第1回ゆるネット勉強会(WEB研修)

6/17 中核地域生活支援センター連絡協議会 研修会
(WEB研修)

いちほら福祉ネット活動報告

新型コロナウイルスの影響により、開催予定だったイベントや研修などが次々と中止になりました。

関係者が集まらない中でもWEB会議や書面でのやり取りを通じた意見交換を行い、『今できることはなにか?』を意識しながら様々な問題に取り組んでいます。

いちほら福祉ネットへの相談件数

(速報値)

令和2年4月～令和2年6月

延相談件数 1,982件(新規81件)

| 相談方法 | 対象者 |
|------------|------------|
| 電話 1,489件 | 高齢者 146人 |
| 訪問 368件 | 障害者 1,067人 |
| 来所 94件 | 児童 146人 |
| 個別支援会議 31件 | その他 623人 |

令和2年度(4月～6月)

延相談件数 1,982件

編集後記



新しい生活様式が発表され、2カ月が経ちました。マスク着用による熱中症等にならないようにこまめに水分補給を行い、屋外で人と十分な距離がとれる時はマスクをはずしたりして、体調管理に気を付けて過ごしていきましょう。(スタッフ一同)